



# クローバー動物病院

## だより 第27号



今回から、ハムスターについてのお話です。

ハムスターの生態は脊椎動物門、哺乳綱、げっ歯目、ネズミ科、キヌゲネズミ亜科に属します。ハムスターの仲間は 23~25 種といわれますが、現在日本で普通にペットとして飼育されているものは下記の 5 つの種類にほぼ限られています。なお日本では、ヒメキヌゲネズミ属、キヌゲネズミ属といった小型種をドワーフハムスターと称することがあります。

種類：☆ヒメキヌゲネズミ属

○ヒメキヌゲネズミ (ジャンガリアンハムスター)

○キャンベルキヌゲネズミ (キャンベルハムスター)

○ロボロフスキーキヌゲネズミ (ロボロフスキーハムスター)

☆キヌゲネズミ属

○モンゴルキヌゲネズミ (チャイニーズハムスター)

☆クロハラハムスター属

○クロハラハムスター

☆ゴールデンハムスター属

○ゴールデンハムスター

ハムスターといっても、複数の属にまたがる、それぞれ独立した種が含まれています。つまり、複数の属にまたがるいくつかの種をまとめてハムスターと称しており、キヌゲネズミ亜科にすべてがくくられているわけです。

〈例〉

属が同じ  
ジャンガリアン  
キャンベル  
ロボロフスキー  
の関係は



イヌとオオカミ  
ヒョウとライオン  
ウマとロバ  
くらい近縁関係

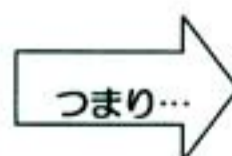


つまり... 雑種をつくることが可能!

属が異なる  
ゴールデン  
ジャンガリアン  
の関係は



イヌとタヌキ  
ネコとライオン  
くらい遠縁関係



つまり... 雑種をつくることは不可能!

よう。その他にワラや切り草なども巣材として用いることができ、どんな巣材にするかは飼い主さんの都合やハムスター自身の好みで決めればよいでしょう。巣箱もいろいろタイプがありますが、通気性を考慮すると木製のものがよいと思われます。水槽タイプのケージを使っている場合、巣箱の屋根に登れば簡単に天井に届いてしまうことがありますので、天井はしっかり閉めておいてください。

巣箱自体は、屋根が簡単に取りはずせるものがよいと思います。掃除がしやすく、皮膚病などの場合、巣箱内の湿度の上昇を防ぐために屋根を取りはずしておいてほしい場合があるからです。

☆トイレ：トイレの砂は固まるタイプのものは、手足が濡れているとそこに固まって着いてしまうことがありますからやめた方がよいでしょう。

☆遊び道具：遊び道具は運動不足とストレス解消のために与えてあげるとよいでしょう。怪我をしたり窒息したりする恐れのないこと、そして噛んでも危険のないものであることが必要です。

をつけてください。

野菜ばかり食べてペレットを食べずに痩せてしまったり、ひまわりの種ばかり食べて肥満にしまったりすることがよくあります。また水っぽいなま物を大量に、しかも長時間入れておくと湿度が上がりますので要注意です。ほかに動物性タンパク、煮干し、チーズ、ゆで卵などを与えることができますが、量はごく少量、もしくは3日に1回程度とします。市販のハムスター用“おやつ”も食物全体の1割以上が“おやつ”にならないようにしてください。

☆ 飲み水：常にきれいなものが飲めるようにしてください。飲水ボトルでも床置き  
きの器でもよいと思います。床置ききの器を使うのならばひっくり返らない重みのあるものにしてください。



## 巣材と巣箱 トイレ、遊び道具

☆ 巣材と巣箱：ウッドチップは優れた巣材となりますが、アレルギー様の症状をみせるハムスターがいますので、一般に杉材や松材は避けるほうがよいでしょう。新聞紙や雑誌を細かく刻んだものも用いることができます。これらはインクがついていますが、ハムスターは食べるわけではないので心配いらないでしょう。それでも心配であれば、印刷されてない紙類や紙以外の巣材を用いればよいです。

☆置き場所：ハムスターの入れ物は直射日光の当たらない、なるべく温度の日変動の少ない場所を選んであげましょう。

また、夜行性で日中に熟睡しますから、昼間に人の気配や物音のするところは避けてください。齧歯類は明暗サイクルに敏感なので、夜中過ぎまで明るい場所に置かれたり、明るい時間帯がほんの少ししかないような環境におかれたりしますとストレスになる恐れがあるため、注意しましょう。

## ハムスターの食事

ハムスターは幼いうちから与えれば何でも食べるようになりますが、食べさせてよいものと悪いものを区別しなくてはなりません。また小さな動物であるだけに好物を多く与えると極端な偏食となりますから、与える量にもよく配慮しないとなりません。

☆ペレットフード：完全食にもっとも近いと思われるので、これを主食として全体の70%程度与えてください。いろいろなものを与えたいと思っても、最低50%はペレットということにしておくのがよいでしょう。

☆ペレット以外のもの：野草（ハコベなど）、穀類（麦、トウモロコシなど）、木の实（ひまわりの種など）、野菜（ニンジン、コマツナなど）、くだもの（リンゴ、イチゴなど）、シリアルなどを少量ずつ与えます。与える量には十分気

# ハムスターのケージとその置き場

☆ケージ：小型ペットのケージとして販売されているものは、壁面が金網製になっているものが多いようです。金網ケージは通気性がよいという点では乾燥状態を好むハムスターによい環境を提供することができます。しかし金網に起因する事故がかなり多くみられます。（金網を噛んで切歯を傷めたり、天井に登って落下し脊椎を傷めたり、金網に足を挟んで骨折したりします）

2階のついたケージで飼うと上手にはしご段を昇り降りしますが、部分的な2階建ては落下の事故を考えると好ましくありません。しかも2階のない部分の天井は高くなりすぎます。

☆水槽型のケージ：このような金網ケージの欠点を考えると、水槽タイプを用いる方が安全だと思われれます。ただし、このタイプは湿度が上がりやすいことが大きな欠点となります。これを防ぐには、こまめに掃除して尿をかたづけあげること、飲水器に水漏れがあったり水の容器をひっくり返すことのないように配慮してあげることなどがが必要です。湿度の上昇を抑えるために体の大きさの割になるべく広いケージを用意してあげること、蓋はなるべく風通しのよい金網にします。



Fig1-15 ハムスター専用水槽ケージ

# ハムスターの野生での生活

☆**住みか、行動**：いずれも乾燥地帯に暮らし、地下に巣穴を掘ってすみかとして  
います。巣穴は寝室、食糧貯蔵庫、トイレ（尿だけ）など多くの部屋  
に分けられています。基本的には夜行性ですので、昼間はよく眠り、夜  
間によく動き回り（もっぱら地を這い地下に潜る）、食事量や排泄量も  
夜間に多くなります。

☆**食べ物**：夜間に巣穴から出てきたハムスターは草の葉や茎、そして種や実を食  
べますが、乾燥地帯であるために豊富な食糧があるわけではなく、粗食  
に耐えて暮らしています。他に昆虫など小さい動物も食べます。食糧は  
頬袋に詰めて巣の食糧貯蔵庫に運びます。

☆**水分**：野生のハムスターは水の乏しいところに暮らしていますから、水分は草  
などの食物に含まれるものと、あとはせいぜい草についた夜露を舐める  
ことでまかっています。

☆**冬眠**：秋には冬に備えて草の種や実の類を食べだめし、また食糧貯蔵庫に運び  
保存します。野生では外気温が 10℃以下になると巣穴の中で過ごすことが  
多くなるといわれます。巣穴の中が 4~5℃を下回るようになると冬眠しま  
す。冬眠中は心拍数 4 回/分と通常の 100 分の 1 にまで低下し、呼吸も 2  
回/分程度まで低下します。ただし冬眠中にも時々起きて食事をするようです。



Fig1-10 ジャンガリアンハムスター (*Phodopus sungorus*)



Fig1-11  
キャンベルハムスター  
(*Phodopus campbelli*)



Fig1-12  
ロボロフスキーハムスター  
(*Phodopus roborovskii*)



Fig1-13  
クロハラハムスター  
(*Cricetus cricetus*)



Fig1-14 ゴールデンハムスター (*Mesocricetus auratus*)

# ハムスターのルーツ

—日本では 1970 年前後からペットとして広く普及しました—

## ☆野生のゴールデンハムスター

⇒ブルガリア、ルーマニアからイランにかけての地域に分布。

棲息地はステップや砂丘、砂漠のへりなどの乾燥したところ。

## ☆野生のジャンガリアン、キャンベル、ロボロフスキー、チャイニーズ

⇒アジア大陸に各々の分布域をもっているが、いずれもルーツは乾燥地帯。

したがって、一般にハムスターは乾燥に強く湿気に弱い動物なのです。  
(例外もいますが…)

○ハムスターは水の少ないところに暮らしているために、その体ごく少量の水分でも維持できるようにできています。

(飼育下では野生とか多くの点で条件が異なりますから、水は常に飲めるようにしておかなければなりません)

○地中の巣の温度は外気温が大きく変動しても影響されにくいので、野生ではどの種のハムスターも地下に坑道を掘って巣を作ります。  
このため、ペットのハムスターには、適切な温度管理をしてあげなくてはなりません。暑さ寒さを避けて地下の巣穴に逃げ込めない彼らは、思いのほか簡単に熱射病、低体温症に陥ります。